

JISA活用 ベストプラクティス

～情報サービス産業協会 会員事例集～



Japan Information Technology Services Industry Association

本事例集(JISA活用ベストプラクティス)は、
情報サービス産業協会(JISA)会員の皆様より、
JISAにおける取り組みやJISAで得たご経験、
JISAを活用して得たメリットなどをヒアリングを通して取りまとめたものです。

JISAでは、情報サービス産業における技術研究や法務・制度対応サポート、
人材育成メニューのご提供から、政府との連携・政策立案への関与まで、
皆様の事業・経営のお役にたつサービスを提供しております。

その結果として、皆様からは、

- 事業や経営に対する丁寧な支援が受けられる
- 経営の実務に役立つコンテンツが多数ある
- 自社だけではできないことが達成できる

といった声をいただきました。

本編ではそのご紹介をさせていただき、皆様の
事業と経営にJISAがお役に立てるかどうかが、
ご検討をいただく際の参考になればと考えております。

2016年3月

一般社団法人情報サービス産業協会

INDEX

～JISAは、こんなところが役に立つ～

【 IT 企業の経営を支援する 】

- JISA のノウハウを、専任スタッフの代わりに ……………3
【(株)BSN アイネット 樋口 徹氏】
- 中小から大手まで集うよろず経営相談所 ……………5
【システムエボリューション(株) 神野 秀一氏】
- 情報技術マップで、経営課題を抽出 ……………7
【(株)さくらケーシーエス 水野 太郎氏・安藤 洋氏】
- 大手企業と同じ視点を持てる環境 ……………9
【(株)RiNET 藤田 利江氏】

【 IT 企業の実務に役立つ 】

- 難しい法務実務の丁寧なサポート ……………11
【(株)ニッポンダイナミックシステムズ 藤本 律氏】
- システム開発の理論的アプローチを追求 ……………13
【リコー IT ソリューションズ(株) 有本 和樹氏】
- 海外展開活動への橋渡し役 ……………15
【(株)網屋 伊藤 整一氏】

【 一社ではできないことをする 】

- 業界として政策への働きかけができる場 ……………17
【(株)NTT データ 西尾 秀一氏】
- 首都圏で新しいことを始める足がかりに ……………19
【(株)YCC 情報システム 江口 美彦氏】
- 多くの経営者が集い語る、意識改革の場 ……………21
【(株)パワーハウス 亀谷 広美氏】
- 社員の人脈と視野を拡大する ……………23
【(株)インフォメーション・ディベロプメント 船越 真樹氏】
- 使命的に業界に携わり、道標を作っていく ……………25
【(株)野村総合研究所 榊原 大史氏】

【IT企業の経営を支援する】

(株)BSNアイネット 樋口 徹氏

JISAのノウハウを、専任スタッフの代わりに



(株)BSNアイネット 樋口 徹氏

プロフィール
取締役 東京支社長

白書委員会委員

JISA
1999年入会

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

目まぐるしく変わる規制への対応や法務、研修などについて、**専任のスタッフが少ないのが悩みでした**。JISAはその**サポート**に活用させていただいています。

2. JISAに加盟するメリットは？

最新の知的資産が整備されており、実務面で活用しています。業界動向や競合情報も入りやすいですし、交流会などは実際に新しいビジネスにつながるネットワークができる。**JISAを通じてコミュニティが広がっている**ことを感じます。

3. JISAにお持ちの印象は？

実務資料や専門情報・最新情報がすぐに手に入りますし、人脈も広げられて、**業界各社の考え方を知ることができる点が魅力的**です。**大変お得な団体**だと感じています。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

さまざまに開催されているワーキング活動に積極的に参加したいです。特に**社員育成や就業環境に関するテーマ**に関心があります。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

JISAは、特に**中小事業者にとっては非常にコストパフォーマンスが高い**と思います。また、**東京に事務所を構えている地方発の企業**なども、情報収集のため是非JISAを活用されてはいかがでしょうか。



6. JISAにひとこと！

JISAでは、ビジネスマッチングとまではいかない、**会員との緩やかなつながりができる**点が非常に良い。これからも、情報交換のための交流会や食事会など、「やわらかい」活動を増やしてってください。

7. JISA活用サービス具体例

● 業界として課題に感じているテーマを共有 ●

例年7月に開催されていた技術シンポジウム（SPES）とJISAコンベンションが一体化したJISA Digital Masters Forum (JDMF)は非常に良かったです。
講演、技術セッション、情報交換パーティとありましたが、まず講演では、他社の人材活動の取り組みが聞けて大変参考になりました。
 若い人も多く、当社の若い社員にも参加させればよかったです。

業界として、会社の働きや人と人との関係をよくしていかなければ、人材が集まらなくなっていると感じています。**業界として課題に感じているテーマについて、他社の具体的な考え方や取り組みが聞けるのは貴重な機会です。**
 パーティでは、積極的にPRされている会社の話を深く聞けるため、新しいビジネスのつながりができます。
 以前は、**実際に企業間人材交流に至った**こともあります。



● プライバシーマーク審査 ●



2005年からずっと、JISAに審査をお願いしています。
 実は当社でもセキュリティ専門の子会社（株ITスクエア）を持っていて、プライバシーマークやISOの取得支援を行っているんです。また、JISA入会前までは他の審査機関で受審していたのですが、JISA入会を機にこちらに切り替えました。

もちろん他の業界団体もいろいろありますが、**JISAはやはり、中小企業にとってのコストパフォーマンスが高いと思います。**
 重要なテーマのセミナーや専門分野・実務向けの入門書などを安く受講・入手しています。
 その流れで、Pマークの審査もお願ひしています。

活用事例



(株)BSNアイネット 笑顔・暮らし・未来をつくる iのチカラ

設立 1966年4月
 代表取締役社長 石井 伸行
 本社所在地 〒950-0916
 新潟県新潟市中央区米山2-5-1
 TEL:025-243-0211 (代表)

株式
 会社 **BSNアイネット**

従業員数 487名 (2015年4月)
 事業内容 **アウトソーシングサービス事業**
 データセンター/ファシリティアウトソーシング
システムインテグレーション事業
 業務分析/システム設計、システム構築、システム運用/保守
ネットワークソリューション
 NWインフラ分析/設計、インターネット/イントラネットシステム設計・構築
コンサルテーション
 戦略的ITコンサルティング、システムコンサルティング、調査/分析/研究
セキュリティマネジメント、パッケージインテグレーションなど

【IT企業の経営を支援する】

システムエボリューション(株) 神野 秀一氏

中小から大手まで集うよろず経営相談所



システムエボリューション(株) 神野 秀一氏

プロフィール
代表取締役社長

JISA
2012年4月入会

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

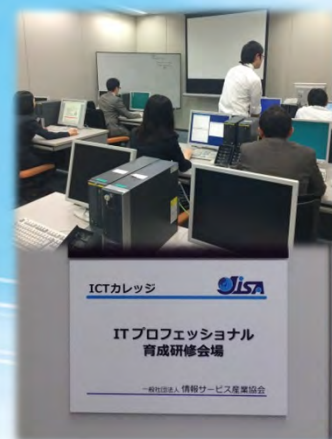
2011年創業時、私どもは他社との交流が少ないことに悩んでいました。同業他社に学ぶ、と競争を含むIT企業をリサーチしてみて、**多数が所属している団体**としてJISAを選びました。

2. JISAに加盟するメリットは？

今抑えておくべき制度、知っておくべき知識に関するガイダンスやアドバイスが必要な時すぐ手に入ることが、経営に大変役立っています。**JISAのICTカレッジ（研修）のカリキュラムは非常に豊富で、しかもよく体系立てられています。**

3. JISAにお持ちの印象は？

ICT全般に関する情報が入手できる、貴重な組織です。
また、会員リストには中小から大手までが名を連ね、**情報網が幅広い印象**です。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

まだ歴史の浅い企業として、教育・人材育成など様々に模索している。
JISAは**自社の足りない機能を補完するより所**としていきたいです。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

「井の中の蛙」になりたくない企業や、新しい顧客を積極的に探している企業、**中小から大手まで、他社とのつながりを作りたいと思っている企業**の方に勧めます。

6. JISAにひとこと！

JISAは**よろず経営相談と、コミュニティ形成**の場。JISA活動から、自然と人脈が広がっていく魅力があり、このような**フラットな組織**があるのは有難いです。

7. JISAサービスの活用例は？

●十分な研修組織を持たない企業にとって、JISAは頼りになる存在●

ICTカレッジでは、SEの育成や新入社員研修に必要なすべてのメニューが、ワンストップで手に入ります。基礎的なスキルだけでなく、キャリア形成研修（例えば、40歳を過ぎた社員には、PMBOKの習得やPMPの取得を必須として課しています）に必要なコースも揃っていると思います。

- | | | |
|-------------------|----------------|------------------|
| □ 共通スキル（入門コース） | □ 事業戦略 | □ システム要件定義 |
| □ コンサルタント | □ IT戦略 | □ システム開発・構築 |
| □ プロジェクトマネジメント | □ IT戦略実行マネジメント | □ システム運用 |
| □ ITスペシャリスト | □ 営業・調達活動 | □ 情報セキュリティマネジメント |
| □ アプリケーションスペシャリスト | □ プロジェクトマネジメント | □ 事業継続計画 |
| □ ソフトウェア開発 | □ ITシステム企画 | |
| □ ITサービスマネジメント | | |



●各種教材・ブックレッツ●

当社は、まだ創立したばかりということもあって研修部がありません。いろいろと模索する中、JISAから毎年送られてくるカリキュラム表は見るだけで内容が充実していることが分かります。

必要なときに必要な教材を活用しやすいのがいいところです。積極的に調べなければ入ってこないような情報や、俯瞰的な業界動向、経済動向に関する情報が入ることも有難いと思っています。

特に新入社員に対しては、毎年必ず、マナーやメンタルヘルス、個人情報保護関連のブックレッツを配布しています。内容が漫画めいていて**分かりやすく、渡すだけで自動的に読んで勉強してくれる**のが魅力です。



活用事例



システムエボリューション(株) ～進化し続ける人と技術力～



設立 2011年
 代表取締役社長 神野 秀一
 本社所在地 〒103-0021
 東京都中央区日本橋本石町4-6-7 日本橋日銀通りビル7階
 TEL:03-6262-5930 (代表)

従業員数 189人(2016年3月)
 事業内容 **ITサービス業（ソフトウェア開発業務・特定派遣業務）**
業種別開発分野
 銀行/証券会社/カード会社/官公庁
 通信/医薬・製薬/流通サービス向けシステム開発
スキル別開発分野
 保守運用サポート/Webオープン系開発/汎用系開発
 インフラ（サーバネットワーク）/組み込み系開発/ERP

【IT企業の経営を支援する】

(株)さくらケーシーエス 水野 太郎氏・安藤 洋氏

情報技術マップで、経営課題を抽出



(株)さくらケーシーエス 水野 太郎氏
プロフィール
経営企画部 グループ長

(株)さくらケーシーエス 安藤 洋氏
プロフィール
事業推進部 技術統括部 グループ長
JISA技術強化委員会、情報技術マップWG委員
(平成19年度～平成26年度)
JISA
1984年6月入会※

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

私は、技術強化委員会に参加していたのですが、当社の技術戦略策定にあたって、**技術的な視点で次に何をすべきか、今何が旬であるかを判断する指針**がなくて困っていた時に、良いタイミングで、JISAが技術委員会の委員を募集していたのが良いきっかけとなりました。(安藤氏)



2. JISAに加盟するメリットは？

規模感が大きく、大手の意見を聞くことができる貴重な場です。また、JISAの情報は自社を含む中堅・中小企業までが調査・編集に関わっているため、**信頼性が高いこと、網羅性がある使いやすい点**にメリットを感じます。



3. JISAにお持ちの印象は？

JISAの委員会は、**各分野の第一線で活躍されている方が参加しているため、非常にレベルが高い**と感じています。また、業界を俯瞰するJISAだからこそ、個々の企業の立場を踏まえた進言ができていていると思います。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

JISAのイベント・セミナーはどれも面白そうです。地方企業として、情報関連のイベントにもっと参加したいです。**積極的に参加することで、コンソーシアムの形成にも繋がる**のでは、と期待しています。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

情報技術関連の情報を求めている企業全般に有益です。特に**地方にあって、イベントになかなか縁が無い企業**にとっても、JISAのイベントはメリットがあると思います。



6. JISAにひとこと！

イベント・セミナーの開催が関東に集中してしまうので、**もっと地方での開催頻度を増やしたり、開催内容の紹介・ストーリーミング**をして欲しいと思います。いつも、興味をそられるテーマを扱ってくれています。

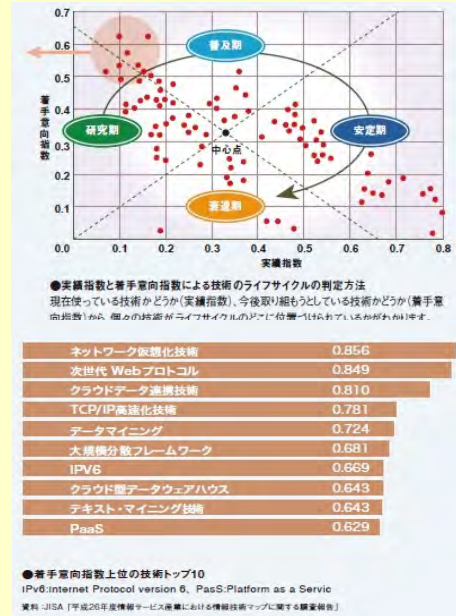
※JISA前身の当時日本情報センター協会

7. JISA活用サービス具体例

● 情報技術マップで、経営課題を抽出 ●

技術強化委員会では、**情報技術マップの作成**等に注力しています。最近の技術トピックとして、実際に会員企業が現在使っている技術や今後使いたい技術、関心がある技術を120程度調査します。例えば要素技術や、複数の要素技術の組み合わせによる新たなソリューション案、各社ごとの技術採用・利用方針についてディスカッションを重ね、とりまとめたものです。JISAで作成する情報技術マップは、**まさに業界を俯瞰的に見た技術図**といえるでしょう。

過去には、JISAの情報技術マップと並行して、**経営課題抽出**のために、**社内版情報技術マップ**も作成しました。社内の主流技術や人材ごとの技術ノウハウをまとめ、世の中のバージョンアップデートや技術変化への対応状況を可視化しました。それまでは顧客の要望に応えることを第一としてきましたが、情報技術マップにより可視化したことで、**時流に応じた技術の取得と向上**にも取り組むようになり、**顧客対応力が向上**しました。



● Pマークの審査サービスは地方企業だからこそJISAを利用 ●



当社もPマークのコンサル業務を行っておりますが、自社の審査については、近隣や関西圏にある他の審査機関ではなく、あえてJISAの審査を受けています。**JISAは業界に特化した知識が豊富なので、審査に伴う指摘事項やコメント的を射た内容で、非常に有難い**です。**JISAでは業界のことを熟知した審査が受けられるため、とても助かっています。**

活用事例

(株)さくらケーシーエス

One stop solution with professional.

設立 1969年3月
代表取締役社長 藤原 邦晃
本社所在地 〒650-0036
兵庫県神戸市中央区播磨町21-1
TEL:078-391-6571

従業員数 1,034名 (2015年4月)
事業内容 **コンサルティング**
システム化計画策定や業務改善、第三者認証取得支援など
SI(システムインテグレーション)
金融・公共・産業におけるシステム構築とSI
業種・業務ソリューション
プロダクト・サービスやシステムデバイスの選定など
ICT基盤ソリューション
データセンター
ビジネスプロセスアウトソーシング

三井住友銀行グループ
 さくらケーシーエス

【IT企業の経営を支援する】

(株)RiNET 藤田 利江氏

大手企業と同じ視点を持てる環境



(株)RiNET 藤田 利江氏

プロフィール
代表取締役

「未来を展望する」委員会 委員
グローバルビジネス研究会 メンバー

JISA
2012年11月入会

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

他の業界団体では同規模の企業が多く、多岐にわたり共感しながら切磋琢磨しておりましたが、零細中小企業であっても、**中長期的な企業展望**や**市場俯瞰**など大手企業と同じ視点を持つ必要性を感じ入会を希望いたしました。

2. JISAに加盟するメリットは？

最新の事例や網羅性のある業界動向が入手できること。また、JISAが無ければご縁の無かったような方々との出会いもございました。**JISAの会費**は、得られる情報の質や量・幅からみても非常に**コストパフォーマンスは良い**と考えます。

3. JISAにお持ちの印象は？

JISA独自のリサーチ情報やJISA手作りのセミナーなど、個性的で**独自性の高いサービス**が加入企業の活躍のもと、裏付けある品質提供としてなされていると思います。他方「**人となり**」でのお付き合いもできる温かさも感じております。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

JISAで入手した情報は、**社内に積極的に展開・活用**していきたいですね。特に最新のテーマを扱ったセミナーなどで使われる教材は非常に有用で、IoTなど**過去に経験の無い分野でのセミナー**は、とても興味深く有意義です。



5. どんな人にJISAを勧めたい？

当社もそうでしたが入会を希望する企業は様々ないらっしゃると思います。興味をお持ちの方は気軽に「**まずは問い合わせを！**」いかがでしょうか？ お持ちのイメージにとらわれることなく。敷居は意外と低いかもしれません。

6. JISAにひとこと！

JISAが持つ情報や開催されるイベントは大変豊富。引き続き活発な活動を続けつつ、**一貫したテーマ・コンセプト**のもとに**JISAブランディング**を明確にもった情報発信を世界にされることを期待しております。

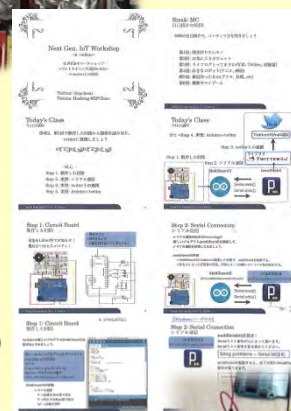
7. JISA活用サービス具体例

●ITからICTへの産業構造変革に共鳴●

「未来を展望する」委員会での活動では、ITからICTへ産業構造が大きく変動するであろう近未来について、多面的に考察を行うことができます。

JISAの情報は、当社なりに咀嚼し、吸収・活用しています。

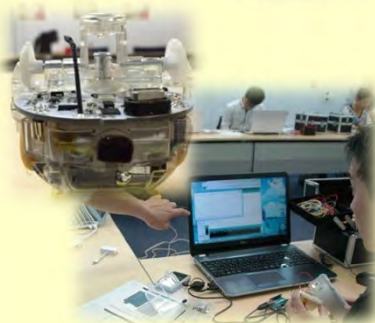
向かいたい未来を自らの手で造りあげ、**関わりたい社会**を自らの手で築くことができる**ICT産業の未来**に向け、新たなデジタルビジネス創造を念頭におきつつ、誇りを持って進んでいきたいと改めて共鳴しております。



●セミナー「次世代IoTワークショップ」いつかは自社製品?! ●

社員参加型「次世代IoTワークショップ」を受講しております。次世代IoTワークショップの内容は、アイデアをプロトタイプ化することです。受講者は**世にないものを創造する**気概にあふれ、同じ思いで新たな技術にチャレンジしております。

当社のようなビジネスアプリケーション開発企業の技術者にとって、JavaやC++などの開発言語を活用したシステム構築は経験があるものの、視覚化し物質的に3Dとして触れることが可能なプロトタイプ化は**未体験ゾーンへのチャレンジ**で価値ある体験です。ライトがチカチカしただけで感動的です！（笑）



また、もっともJISAらしさを感じられる点は**講師の素晴らしさ**です。講師は30代の知識人で、既に世界に自社製品を販売されているベンチャー企業の代表です。現場に根付いた深い知見をお持ちで「世界へ日本発信」の想いのもと活躍しておられ、このような逸材を講師に招くこともJISAの強みと感じます。

活用事例



(株)RiNET 「人に優しい」システム開発

設立 1999年11月
代表取締役 藤田 利江
本社所在地 (東京本社) 〒103-0023
東京都中央区日本橋本町4-8-17 KN日本橋ビル4F
TEL:03-3272-0086 (代表)
(大阪支社) 〒530-0047
大阪府大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング2F
TEL:06-6312-6112

従業員数 40名 (2016年2月)
事業内容 **アプリケーション開発事業**
社会基盤エネルギーシステム開発
データベース及びレガシーマージョン開発
Android・iOS向けスマートフォンアプリ開発
ウェアラブルデバイス連携アプリ開発
ファシリティマネジメント
大規模システムへのファシリティマネジメントと支援

株式会社リネット
RiNET

【IT企業の実務に役立つ】

(株)ニッポンダイナミックシステムズ 藤本 律氏

難しい法務実務の丁寧なサポート



(株)ニッポンダイナミックシステムズ 藤本 律氏

プロフィール

情報セキュリティ管理責任者
SB事業グループ統括マネージャ

JISA
1976年3月入会※

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

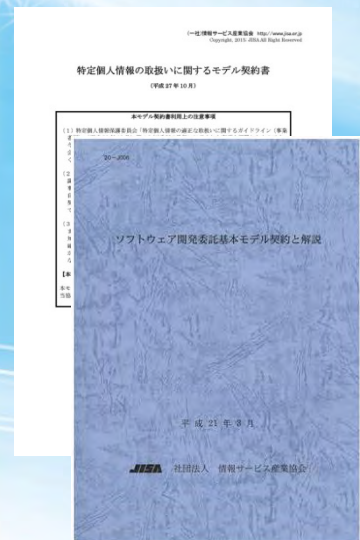
当社はJISA創立時からの会員であり、私が入社した当時から「そこであって然るべきもの」としてさまざまな情報を入手していました。

2. JISAに加盟するメリットは？

中立的で信頼できる情報が手に入ること。特に、業界における法務や労務関係の、最新情報を得られる意義は大きいです。

3. JISAにお持ちの印象は？

JISAは、**情報サービス産業界の重要な経営インフラ**です。
公開されている各種の情報は有用ですし、セミナー・研修も活用しています。



平成27年4月15日
平成28年1月28日改訂
JISA 法務・契約 FAQ 集
一般社団法人 情報サービス産業協会

本FAQ集は、法務・契約実務と社員教育の向上に資することを目的として、ベンダの法務担当者と社員との間で「受ける側」としての研修を兼ねて、一般社団法人情報サービス産業協会がJISAの会員限定で提供しているものです。

JISAでは、法令等の整備状況はもとより、近年におけるサービス提供型ビジネスやグローバル取引の進展等を踏まえ、平成20年に発行したブックレットの全面的な見直しを行い、本年1月8日にJISAブックレット11「法務・契約ハンドブックプロジェクトマネジメントの基礎知識」を発行しました。

これに伴い、JISA 会員企業向けに法務・契約に関する理解を深めるための教育ツールとして、上記ハンドブックと併用できるよう、本FAQ集を改訂しました。本改訂に際して追加した内容は下欄部分です。
主な内容(見出し)

1. 契約 (12頁以内)	Q11 債権と債務の違い
Q12 債権の効力	Q13 債権と債務の責任の違い
Q14 債権の譲渡	Q15 フランチャイズ契約の概要
Q16 基本契約の締結	Q17 商業上の秘密
Q18 契約書の作成	Q19 ネットとクラウドサービスの契約
Q20 請求書と契約書の効力	Q21 SLAの運用
Q22 契約の成立と成立時	Q23 海外取引上の注意
Q24 電子契約書の効力	Q25 海外取引上の注意(クラウド)
Q26 電子契約書の締結	Q27 海外取引における特約の必要性
Q28 電子契約書の効力	
Q29 契約の成立と成立時	
Q30 契約書の効力	
Q31 契約書の作成	
Q32 請求書と契約書の効力	
Q33 契約の成立と成立時	
Q34 電子契約書の効力	
Q35 電子契約書の締結	
Q36 電子契約書の効力	
Q37 電子契約書の効力	
Q38 電子契約書の効力	
Q39 電子契約書の効力	
Q40 電子契約書の効力	
Q41 電子契約書の効力	
Q42 電子契約書の効力	
Q43 電子契約書の効力	
Q44 電子契約書の効力	
Q45 電子契約書の効力	
Q46 電子契約書の効力	
Q47 電子契約書の効力	
Q48 電子契約書の効力	
Q49 電子契約書の効力	
Q50 電子契約書の効力	
Q51 電子契約書の効力	
Q52 電子契約書の効力	
Q53 電子契約書の効力	
Q54 電子契約書の効力	
Q55 電子契約書の効力	
Q56 電子契約書の効力	
Q57 電子契約書の効力	
Q58 電子契約書の効力	
Q59 電子契約書の効力	
Q60 電子契約書の効力	
Q61 電子契約書の効力	
Q62 電子契約書の効力	
Q63 電子契約書の効力	
Q64 電子契約書の効力	
Q65 電子契約書の効力	
Q66 電子契約書の効力	
Q67 電子契約書の効力	
Q68 電子契約書の効力	
Q69 電子契約書の効力	
Q70 電子契約書の効力	
Q71 電子契約書の効力	
Q72 電子契約書の効力	
Q73 電子契約書の効力	
Q74 電子契約書の効力	
Q75 電子契約書の効力	
Q76 電子契約書の効力	
Q77 電子契約書の効力	
Q78 電子契約書の効力	
Q79 電子契約書の効力	
Q80 電子契約書の効力	
Q81 電子契約書の効力	
Q82 電子契約書の効力	
Q83 電子契約書の効力	
Q84 電子契約書の効力	
Q85 電子契約書の効力	
Q86 電子契約書の効力	
Q87 電子契約書の効力	
Q88 電子契約書の効力	
Q89 電子契約書の効力	
Q90 電子契約書の効力	
Q91 電子契約書の効力	
Q92 電子契約書の効力	
Q93 電子契約書の効力	
Q94 電子契約書の効力	
Q95 電子契約書の効力	
Q96 電子契約書の効力	
Q97 電子契約書の効力	
Q98 電子契約書の効力	
Q99 電子契約書の効力	
Q100 電子契約書の効力	

4. 今後JISAでやっていきたいことは？

ビジネスの目を自社の力で切り開きつつ、そのサポートとなるような中立的な情報を入手する先として利用したいと思っています。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

現在の業界水準を知りたい人。もう一步事業拡大したいベンチャー企業や、フレッシュな気概を取り込みたい大手企業など、**それぞれの規模・立場に合った「支えられ方」**があると思います。

6. JISAにひとこと！

JISAの情報は、コマーシャリズムや政策などの強力な推進力にも影響を受けない**中立的な立場から発信されていて、安心感**があります。今後も業界水準に関する情報提供を続けてください。

※JISA前身の当時日本情報センター協会

7. JISAサービスの活用例は？

● 契約書のひな型や契約の方法など、法務実務に役立つ多様な情報を得られます ●

10年くらい前、新規サービス（就業管理のASP展開）を始めた際、一から契約モデルを作り直すのは大変難しい、と悩んでいました。そんな時、**タイミングよく、JISAがASPIに特化した契約モデルを提供してくれた**のです。

社内でプロジェクトチームを発足し、JISAのモデル契約書の解説を一条ずつ丁寧に読み込みながら、ちょっと改訂を加えるだけで、自社に適した契約書を作り直すことができました。この契約書をベースに、**200社ものお客様との契約**を締結しています。

JISAがスタンダードとして提供するモデルをベースにした契約書を使い、JISAを引き合いに出して営業すると、比較的うまく受注できる傾向にあります。



JISAでは、最新の業界動向・政策を踏まえたセミナーを開催してくれるため、**JISAが選別しているセミナーにはいつも何らかの期待感**を持っています。

例えば、我々の業界の視点でどのように政策を解釈したり、活用したりすべきかの指針をもらえる。**業界標準を知り、他社と目線あわせをする手助け**になっていると感じています。

また、社会人になると、アカデミックに戻った気持ちで勉強できる機会が少なく、学習の場としても有難いですね。

活用例



(株)ニッポンダイナミックシステムズ 1人の満足から、社会の満足へ

設立 1969年8月
代表取締役 平山 武司
本社所在地 〒154-0015
東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル
TEL:03-3439-2001 (代表)

従業員数 122名 (2015年4月)
事業内容 **システムインテグレーション**
飛行情報関連システム、航空管制関連システム
放送局・デジタル放送・衛星放送システム
流通サービス業関連システム
小売・卸販売管理システム
人事・給与システム
ソリューションサービス
勤怠管理システム
IT資産管理システム
コンテンツ配信サービス
要求開発コンサルティングサービス



【IT企業の実務に役立つ】

リコーITソリューションズ(株) 有本 和樹氏

システム開発の理論的アプローチを追求



リコーITソリューションズ(株) 有本 和樹氏

プロフィール

エンベデッドソリューション事業部 東日本開発センター
ES第4開発部 第2グループ

JISA要求工学委員会委員
要求工学事例研究会メンバー

JISA
1983年4月入会

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

入会当時、社内に、「外部に人材を出して成果につなげよう」という機運があった。
また、同じタイミングで**自分と同じ問題意識をもって議論している委員会**
(要求工学委員会)があることを知って、参加に至りました。

2. JISAに加盟するメリットは？

同業者と同じテーマについて話し合い、問題を共有できること。私はシステム開発
における社内の企画・営業・開発各担当者間のコミュニケーション不足や齟齬について
歯がゆい思いをしていたので、これをテーマにディスカッションできる意義が大きいです。

3. JISAにお持ちの印象は？

「知る人ぞ知る」団体といったイメージです。また、JISAのことは知っていても、その中
で様々に行われている活動は知られていないこともあります。私自身、要求工学系
のテーマまで扱っているとは知りませんでした。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

**出版した書籍の英訳版執筆や、各社共通に悩んでいるテーマについて新たに
ディスカッション**するなど、既存の活動をオープンに継続していきたいです。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

最近「情報サービス」に関わる企業が増えていて、**会員としての対象枠がどんどん
広がっている**ように感じます。今後、**自社に技術進歩をどう取り入れていかなど
といった悩みを持つ企業**には是非入ってもらいたいです。

6. JISAにひとこと！

JISAは、社内の課題や自身の悩みについて同業者とディスカッションをし、
新しい思考や方法を共有できるとても有意義な場です。

7. JISA活用サービス具体例

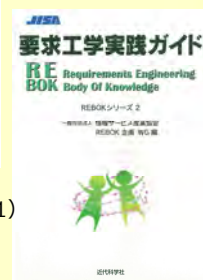
● 要求工学委員会で、協力して唯一無二のマニュアルを作成●

要求工学知識体系 (REBOK)関連活動は、①委員会
②事例研究会 ③インスペクション の3つの組織体から成ります。
特に①委員会の活動が活発で、**参加者でシリーズとして書籍を出版し、
セミナーや著者講演会を開催**しています。

特に、エンベデッド系の開発案件では、不特定多数を相手にする中で、
企画側の要求が膨れてくることがあります。また、ユーザの意見を聞いて
きたはずの営業側が何を言っているか、開発側に伝わらない、
わからないという問題が頻発しています。委員会では、こういったときに
何をしたら良いなどの指針を与えてくれる要求分析ができれば良いと思います。



要求工学知識体系
(近代科学社/2011)



要求工学実践ガイド
(近代科学社/2014)

これは、ユーザとベンダの間に顕在化しているテーマではあるものの、システム開発においてユーザ側が意識的に改革を
起こせるわけではないため、ベンダがユーザを巻き込んだ（導く）形でしっかりとコミットする体制が不可欠です。
しかしながら、システム開発において、ベンダとユーザの狭間に立ち、第三者的な視点で改善を提案できる
存在が少ないのです。結果的に重要なステークホルダーを特定し、どうすればよいかをすり合わせる属人的作業が
必要となります。それならば、**業務をある程度理解し、現場で仕事をしているものが、現在属人的に散在する
解決方法に頼っている問題解決の型を一般化し、総合的に参照できるようなマニュアル**があればよい。
そのために、当該書籍ができました。

「ベテランの人は分かっているけれど、そうでない人は分からない、気づかない」問題に関する入門書です。

要求仕様を機能仕様に展開（分解）するときの分析などにも応用できるかもしれません。

細かな説明が載っているマニュアルは他にも多くありますが、何をするとどうなる、などといった業務の流れに即した
ガイドはあまりありません。こういった意味で、**他の団体には作れないような書籍を作れている自負**があります。

私自身、現場担当者としてコピー機の開発を行っており、毎年新商品を作る際、要求定義のようなことを行っていま
す。セキュリティ担当者として現場担当者と設計担当者の中に立ち、相互の意見を折衷する役割を続けた結果、属
人的に行き来して意見調整するのではなく、もっと効率よいメソッドがあるのではないかという思いに駆られたのが、
委員会に参加したきっかけでした。

活用事例



リコーITソリューションズ(株)

人・情報・信頼を技術でつなぐイノベーション企業へ

設立 1982年10月
代表取締役 社長執行役員 森田 哲也
本社所在地 〒104-6042
東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエア
オフィスタワーX
TEL:03-5560-8911 (代表)

従業員数 950名 (2015年4月)
事業内容 **エンベデッドソリューション**
リコー製プリンター、複合機などの組み込みソフトウェア開発
プリンター、複合機活用のためのソリューション提案
ITソリューション
システムの企画、設計、構築、運用・保守

ソフトウェア開発やシステム構築で培った技術を活かし、
ワークスタイル改革や、業務プロセス変革を実現するIT
ソリューションをリコーグループの一社として提供

RICOH
imagine. change.

【IT企業の実務に役立つ】

(株)網屋 伊藤 整一氏

海外展開活動への橋渡し役



(株)網屋 伊藤 整一氏

プロフィール
代表取締役

JISA理事、国際委員会 副委員長
グローバルビジネス研究会 幹事
会員連携コミュニティ 幹事

JISA
2004年6月入会

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

IT企業とのコネクションを期待して入会しましたが、最初の数年は定例の年間行事に参列するくらいでした。

その後、国際委員会とグローバルビジネス部会に出会い、**JISAの国際連携力を活用した視察やイベント**に参加するにつれ、**そのノウハウや貴重な体験を会員に共有**する活動に携わることになりました。



2. JISAに加盟するメリットは？

国際活動に参加してみるとその**多岐にわたる活動**が見えてきました。

視察団に参加することで**人脈が増えます**。売上に対する直接メリットよりも事業に対する相互支援が可能となる人脈が形成され、会員同士の事業上の相談や、貴重な情報の交換が可能となります。

また、各委員会や研究会の活動に社員を参加させることにより、**さまざまな企業の人材との出会いを通じて人材育成**にも役に立っています。



3. JISAにお持ちの印象は？

官庁系の権威ある協会で活動前は少々お堅い印象でした。実際には公的機関のような役割も担っており、関係各所向け情報提供や出版、また**ICTに関わる国際関係の窓口**など、事務局は多くの具体的実務をこなしています。その**事務局のノウハウを共有できることがJISA会員のメリット**だと感じています。また、JISAは業界大手の集まりのようなイメージがありますが、実は大手企業会員は2~3割でその他は中小企業の会員で構成されていることを知って驚いたのも事実です。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

国際委員会やグローバルビジネス研究会の活動を通して会員メリットを追求し、**国際部門や国際人材を所有していない中小企業でもJISAのネットワークを活用したグローバル活動を推進**していければと思っています。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

長く継承されていく**人脈を築きたい方**、また、社会に必要とされる事業を立ち上げた**ベンチャー企業やその技術の理解と支援を必要とする方**に。
是非、その様な方々と夢を語り合えれば幸甚です。



6. JISAにひとこと！

もう少し、JISAの良いところを分かり易く業界にアピールしてほしいと思います。

7. JISA活用サービス具体例

● 海外の政府系業界団体とJISAのリレーションにより海外市場の獲得やパートナーの発掘が容易に ●

アジア各国における業界団体の大会合であるASOCIO※に参加し、**現地で開催される交流会を通じて実際に人脈が形成されビジネスにつながるコネクション**ができました。現在では、進出したい国の協会にコンタクトをとるだけで、弊社の商品に興味のある企業の紹介や、現地での商品DEMOの支援をいただいています。特に中小・中堅企業で、人材や体力不足から海外展開に二の足を踏んでいる企業には魅力的だと思います。また、国際視察に同行する方々との人脈は、帰国後、国内でも生き続けています。

※ASOCIO(アジア・オセアニア産業機構)
1984年に設立されたJISAを含むアジア・オセアニア地域各国のIT産業協会で作組織される団体。



● グローバル化支援ポータルサイト “GoGlobal” ●

<http://goglobal.jisa.or.jp/>



私たちが立ち上げた“GoGlobal”は、グローバル化支援のポータルサイトとして、**大手企業の未進出エリア情報取得や中堅・中小企業の国際展開に役立つ**よう、委員会の調査結果報告やアジア各国の市場データなどの豊富な情報をウェブ上で公表しています。会員企業各社への認知度を高め、持続的な運営に向けて情報やノウハウを貯める場としていきたいと思っています。

運営はグローバルビジネス研究会が担当しています。グローバルビジネス研究会では対面での情報交換や各国協会及び傘下企業のミッションの受け入れも行っています。**日本にいながらにして海外の情報取得や海外企業との交流ができます。**

活用事例



(株)網屋

設立 1996年12月
代表取締役 伊藤 整一
本社所在地 〒103-0007
日本橋浜町3-3-2 トルナーレ日本橋浜町 11F
TEL:03-6822-9999 (代表)

従業員数 105名 (2016年2月)
事業内容 **監査ソリューション事業**
セキュリティ監査ツール【ALogConVerter】の開発販売
IT統制構築/内部監査/報告書作成/運用支援
情報セキュリティマネジメントシステム構築/監査/運用支援
IT基盤ソリューション事業
クラウドVPNサービス【Verona】の提供
クラウド無線LANサービス【Hypersonix】の提供
システム基盤の評価/コンサル/設計/構築/運用
ネットワークセキュリティシステムのコンサル/設計/構築/運用
ネットワークセキュリティシステム・サービスの開発/販売
データセキュリティシステムの設計/構築/運用



【一社ではできないことをする】

(株)NTTデータ 西尾 秀一氏

業界として政策への働きかけができる場



(株)NTTデータ 西尾 秀一氏

プロフィール

基盤システム事業本部 セキュリティビジネス推進室
ソリューション担当 シニアスペシャリスト
セキュリティ・エバンジェリスト

JISA情報セキュリティ研究会メンバー

JISA
1989年1月入会

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

2000年ごろ、人事異動でセキュリティ担当配属になりました。折しも安全対策基準が変わった時期で、**自分自身も含めて業界全体で勉強し、セキュリティについての知識を広めようという目的のもと、委員会の取りまとめ役を務めました。**

2. JISAに加盟するメリットは？

人脈が広がり、多様な企業と触れ合える。また、業界全体に関わる方針について、**JISAの場を借りて実務者としての意見を伝え、政策に影響を与えられます。**

3. JISAにお持ちの印象は？

JISAは**企業の規模から各企業の考え方・理念まで様々で、多様性が高い**です。この多様な人脈を通じて、複数社共同プロジェクトが実現したこともあります。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

若者の交流を促進したい。時流に乗ったテーマを中心に取り扱い、若者たちが集まってコミュニティを広げられるような機会を作りたいです。特に期待の人材に参加してもらえれば、**実務のほか、教育面でも良い効果**がでると思います。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

同業他社との提携や連携を重視している方に進めます。JISAを活用することで他社の動きがわかりますし、転じてそれが**自社へのフィードバック**にもつながります。

6. JISAにひとこと！

「はじめが一番」。業界団体はたくさんあるが、JISAのよいところは真っ当で真面目なところ。**IT業界の王道として活動を続けていただきたい**です。

7. JISA活用サービス具体例

● 業界としてひとつのアウトプットを作り出す ●

セキュリティ委員会の取りまとめ



2000年頃、情報セキュリティマネジメント制度は、情報システム安全対策基準(経済産業省)が主流でしたが、ちょうどISMS適合性評価制度が新しく入ってくるのが話題になっていました。

私は当時人事異動でセキュリティ担当に着任したばかりでしたが、当時はセキュリティポリシーの認知度があまり高くなく、まずは**新制度に関する勉強と、その普及活動**を行う必要がありました。

JISAでは、会員や非会員の意見も取り入れながら、旧制度と新制度を星取表の形で比較するなどのセミナーを開催し、活発に活動しました。

JISAの委員会には、多くの会社からいろんなモチベーションや考えを持った人が出席します。こうした**多様性の中でうまく調整し、業界としてひとつのアウトプットを作り出して**いくことは、一企業の中ではできない貴重な経験になったと思います。

● 政策を、より良くする ●

国として大きく方針が変化するような政策が公開されたり、改訂されたりするときは、JISAの会員として適宜情報共有してもらったり、意見表明する場を与えてもらったりします。

例えば、成熟しきっていないIT業界における今後の方針を議論するため、JISA代表として経済産業省主催の委員会の委員を務めたことがあります。自分の意見が、実際に政策に反映された経験もあります。

JISAは経済産業省と長年にわたってよい連携が取れていますし、IT関連の会議や委員会には必ず声がかかるようです。

大手・中小に限らない民間企業が、JISAの場を借りて実務側の意見をしっかりと伝え、政策担当者に影響を与えることができるのは非常に嬉しいですね。**民間企業はある程度束にならないと力に乏しい気がしますが、多様なIT関連企業をまとめる団体であるJISAを通じてなら、業界の命運がかかる政策をより良くしていける**でしょう。



活用事例



(株)NTTデータ Global IT Innovator

NTT DATA

設立 1988年5月
代表取締役社長 岩本 敏男
本社所在地 〒135-6033
東京都江東区豊洲3-3-3 豊洲センタービル
TEL:03-5546-8202 (代表)

従業員数 76,642名(連結) (2015年3月)
事業内容 **システムインテグレーション事業**
ネットワークシステムサービス事業
その他これらに関する一切の事業

ビジネス領域

官公庁・自治体・教育機関/クレジット・決済/銀行・保険・証券
医療・ヘルスケア/通信・放送/電力・ガス/製造・物流
流通・サービス/基盤技術
上記領域に対する法人向けシステム、業界横断型の
インフラサービスなど

【一社ではできないことをする】

(株)YCC情報システム 江口 美彦氏

首都圏で新しいことを始める足がかりに



(株)YCC情報システム 江口 美彦氏

プロフィール

執行役員 東京支社長 兼 東京支社システム部長

JISA会員連携コミュニティメンバー（平成25年度～現在）

JISA
1970年2月入会※

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

もともと私どもからは幹部や役員が参加していましたが、それだけではもったいない、若手社員も**外に出て業界の動きを知る**ように、と促されてJISAの活動に参加するようになりました。

2. JISAに加盟するメリットは？

特に地方の企業にとっては、**在京の同業種企業と交流を持つ**機会がなかなかありません。また、**普段取り込めないユーザの立場の話が聞ける**のもメリットです。

3. JISAにお持ちの印象は？

JISAは「**会員が独自で運営している**」「**みんなが一緒になって一生懸命取り組み頑張る**」組織というイメージがあります。当初想像していたように、「お堅い」組織ではありません。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

我々にとって、JISAは「東京の団体」という印象が強いですが、今後**東京で何かを行う足がかり**にできたらいいですね。例えば、地方企業にとっては**人材獲得**が課題。どのように集めていけばよいか、一緒に考えていきたいです。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

個人的には、**ベンチャー企業に勧めたい**です。新規会員を迎える側にある我々としても、ベンチャーならではの成功経験やご苦労を興味深くお聞きしています。

6. JISAにひとこと！

業界の重鎮である大手企業から若手中心に活動される中堅企業まで、様々な会員を抱えながらも、**直接ビジネスが絡まないからこそぞくばらんな相談ができる場**として活用しています。

※JISA前身の当時日本情報センター協会

7. JISA活用サービス具体例

● 会員連携コミュニティ※では、普段手に入らない情報を収集●

会員連携コミュニティには2013年ごろから参加しています。
広く様々な会社と交流を持ち、ともに何かできないかという期待を持っています。
JISA会合で出会った会社とは別の機会に会い、その後も仲良くしています。

また、他社を訪問するコミュニティ活動では、他社の商品紹介を聞いたり
オフィス見学をしたりと、**普段見られない同業他社の動きや話がフラットに**
聞けて大変面白かったです。

前回の活動では、なかなか耳に入らない**大手ユーザ企業の視点**で話を
聞くことができました。**大企業の悩みは数年後に中小企業の悩みになる**
と思っており、大手の動きをこれもフラットに見ることは今後の参考になります。

※コミュニティ活動

JISA会員（経営者、従業者等）を対象とし、各テーマにおける専門家及びスペシャリス
トが集い、切磋琢磨することを目指す、オープンな全員参加型の組織



● 地方会員として●



当社は地方（山形県）に本社を構えるため、
特に東京の同業種企業と交流を持つ機会として、
JISAの活動に参加しています。

コミュニティ活動は各回メンバーが20名程度と、コミュニケーションを取る
のに規模感がちょうど良いんです。

開催回数も2～3ヶ月に1回程度なので、頻繁な出張など大きな負
荷がかからないのが利点です。

JISAオフィスは東京駅からすぐですし、意外と近いものです。

活用事例



(株)YCC情報システム 人にやさしいSoftwareを

設立 1966年11月
代表取締役会長 寒河江浩二（山形新聞社 代表取締役社長）
代表取締役社長 朝井 正夫
本社所在地 〒990-0023
山形県山形市松波4-5-12
TEL:023-641-4667

従業員数 170名（2015年6月）
事業内容
1. ソリューションサービス
2. システムインテグレーション
3. アウトソーシングサービス

主に公共団体、民間企業、医療機関向けの業務ソフトウェア製品の開発
各種プロダクト、パッケージの販売、アウトソーシングサービス、システムサポート、
クラウドサービスなど、コンピューターシステム全般のサービス提供



YCC INFORMATION SYSTEM Ltd.

【一社ではできないことをする】

(株)パワーハウス 亀谷 広美氏

多くの経営者が集い語る、意識改革の場



(株)パワーハウス 亀谷 広美氏

プロフィール
代表取締役社長

JISA理事(平成23年度～現在)
東京C地区会代表幹事(平成27年度～現在)
広報委員会・技術委員会・市場委員会(平成23年度～24年度)
市場創造チャレンジ委員会(平成25年度～26年度)
政策委員会(平成27年度)

JISA
2004年12月入会

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

一生をかけてもよいと思ったIT業界に、長く続けられる環境が無いことに苦しみ、「誰かがやらねば」という使命感に駆られて独立しました。東京進出の際、業界の総本山として**東京をベースに活動している団体に入ろう**と思ったのがきっかけです。

2. JISAに加盟するメリットは？

JISAは意見交換と意識改革の場になっています。ユーザ系の団体にも加盟していますが、どうしても親子関係や受注関係が出やすい。JISAの方が、**対等に意見を出したり、様々な企業の話聞き、取り入れたりする**機会に恵まれていると思います。

3. JISAにお持ちの印象は？

入会当時は敷居が高く、近寄りたような印象さえもっていました。今も「**総本山**」ではありますが、**もっと親しみやすい団体**になったと思っています。JISAの理事会のように、大小様々な企業から40名もの経営者が触れ合う機会はなかなかありません。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

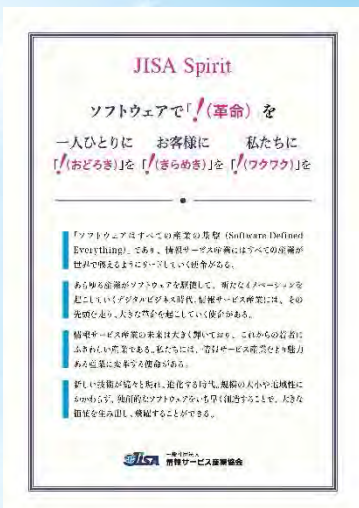
もっとIT業界を明るくしていきたい。ユーザ系はもちろん、独立系やSIer系など**様々な企業の声**が聞ける場にしたいです。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

JISAはスローガンに「**ソフトウェアで! (革命)を**」と掲げていますが、まさに、より**革新的な企業には積極的に**入って来て欲しいですね。

6. JISAにひとこと！

国内にとどまらず、海外も含めてこの業界の動きや成功事例を知りたい。経営者はある意味とても孤独ですが、**会員が対等に話し合える場**をどんどん作って頂ければ嬉しいです。



7. JISA活用サービス具体例

● 委員会活動では、各社の「本音」を聞く●

委員会活動は、**自社で取り組んでいる様々な活動のアピール**の場となっています。また、**委員会で自由に発言したり、他社の貴重なご意見を聞いたりできる**環境があることは、JISAの意義としてとても大きいのではないのでしょうか。

特に、委員会での発言を通して、各会社や個人の考え方を知ることができるのが面白いです。委員会では、各回で受け持つ共通の課題に対して、改めて各社の考え方を聞く機会があります。

その時々で聞かれる各ご担当者の考え方には、**当然各社のカラーやバックグラウンドが如実に**出ていて、とても興味深く感じています。

生の声を聞くことができるのは本当に良いですよ。

雑誌や本のインタビューを読んでも、きれいに書かれてはいますが本音の部分があまり見えてこない気がしませんか。

委員会活動においては、**建前を抜きにした各社個人の本音**が見えるので、とても楽しいしためになるんです。



● 情報サービス業界をより良くするために●

予算をつけていただき、政策がそれとして確立するためには、まず**業界の大手・中小が自社のあり方を見直す**必要があると思います。

例えば、現在は「女性が輝ける社会」に向けた取り組みが進められています。

当社では、数十年前からワークライフバランスについて取り組んでいます。

情報サービス業界の人材が男女共に育っていくには、業界各社が積極的に取り組み、労働条件や風土を改善していくべきです。業界としても就労環境が問題となっている今、**大手・中小が一緒になって政策に働きかけていかなければ**なりません。JISAには、**大手と中小が分け隔てなく、手を取り合って話し合える環境**があると思っています。

活用事例



(株)パワーハウス システムインテグレーションのパワーハウス

設立 1991年5月

代表取締役社長 亀谷 広美

所在地 (大阪本社) 〒541-0052

大阪市中央区安土町3-2-14 サンキュウビルディング 5F

TEL:06-6265-3232

(東京支社) 〒101-0031

東京都千代田区鍛冶町2-5-5 パワーハウスビル東京

TEL:03-5289-9516

従業員数 151名 (2015年12月)

事業内容 **システムインテグレーション**

WEBアプリケーション開発、C/S業務システム開発

インターネットコミュニティサイト開発、DB連携アプリ開発

モバイルプロダクト

スマートフォン対応アプリ開発、モバイルアプリケーション開発、

モバイルを活用したシステムのコンサルティングなど

アウトソーシング

業種：金融、流通、物流他 開発実績：生産管理、工程管理、原価監理など

得意分野：Web系、オープン系、制御系、汎用系など



System integration

【一社ではできないことをする】

(株)インフォメーション・ディベロップメント 船越 真樹氏 社員の人脈と視野を拡大する



(株)インフォメーション・ディベロップメント 船越 真樹氏

プロフィール
代表取締役社長

前JISA理事（平成19年度～平成26年度）
東京C地区会代表幹事（平成21年度～平成26年度）

JISA
1984年6月入会

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

JISAは**組織が柔軟で、様々な立場から相互にコミュニケーションを取れる**場。
JISAを通じて、企業・個人としての人的つながりが広がっています。

2. JISAに加盟するメリットは？

私どもでは、あえて、その年の新任管理職社員をJISAのコンベンション等に参加させています。議論に積極的に参加し、またその機会に人脈拡大にも取り組むようにさせることで、参加した社員の**視野が広がっていると感じます**。
また、JISAは、会社のガバナンスに関する相談相手であり、会社としての姿を確立させるためのサポートが得られる場だと思います。

3. JISAにお持ちの印象は？

各社の社長・幹部クラスの方々が、忙しい時間の合間にも、頑張っている活動されていると思います。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

もっと、**親交を深める活動、有意義な活動**があれば良いですね。
合同地区会の開催や姉妹地区会の形成など、アイデアはたくさん浮かびます。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

特に**中小企業に、入会の意義がある**のではないのでしょうか。自社研修の整備や外部講師の招聘にコストが割けない企業にとって、JISAの研修は非常に活用価値が高いと思います。

6. JISAにひとこと！

JISAのイベントやセミナーなどを使うと、社員のモチベーションが上がる気がします。
今後、中小企業がより活躍できる場ができることを期待しています。

7. JISA活用サービス具体例

● フラットなコミュニケーションがとれる「地区会」の主催 ●

JISA全体だと規模が大きすぎるため、**地区会のまとまり感は会員がコミュニケーションを取る場としてちょうど良い**と思っています。地区会では、各地区の担当理事を設け、そのエリアごとに幹事を担当しています。

私も以前幹事を担当し、地区会を運営した経験があります。普段は気軽に話すことのできない幹部・役員クラスの方が近い場所に座っていることもあり、**コミュニケーションが取りやすく、大きな総会よりも地区会のほうが参加しやすい**、という方もいました。また、地区会の勉強会には各社の若手層が出席するため、**場によって様々な立場からの意見を取り込む**ことができます。私も、各企業代表に個別に話しかけたりして意見を聞いたり話をしたりしていました。会員が楽しめるよう、地区会に著名人を招いて登壇してもらうなどの工夫もこらし、出席率は非常に高かったと記憶しています。熱意がある方が主催する地区会ほど楽しく面白くなると思います。



● 社員研修への組み込み ●



当社では、**JISAの活動の一部を社員研修に組み込んで**います。例えば次長研修の一貫として、その年に新任管理職になった社員をJISAのコンベンションに参加させています。通年の研修プログラムを卒業することが必須要件です。出席するだけでなく、ノルマも設けています。例えば、席は前から5番目までにすわり、必ず手をあげてひとつは質問すること。また、10枚以上名刺交換し、名刺を頂いた方にはお礼状を書くことなども研修の一貫です。**参加した社員は、集中して情報を咀嚼して帰ってきます。**

活用事例



(株)インフォメーション・ディベロップメント わくわくする未来創りに参画する情報サービス企業

設立 1969年10月
代表取締役社長 船越 真樹
本社所在地 〒102-0076
東京都千代田区五番町12-1 番町会館
TEL:03-3264-3571 (代表)

従業員数 2,042名 (連結) (2015年9月)
事業内容 **セキュリティ**
エンドポイント・ゲートウェイ対策、WAF、暗号化
情報漏洩防止、セキュリティ統合管理、統合認証管理
クラウド
リモート運用・監視サービス、クラウド導入支援など
システム運営管理
データセンター・マネジメント・サービス
ビジネス・プロセス・アウトソーシング (BPO)サービス
ソフトウェア開発
WEBシステム開発、ERPパッケージ関連開発、
大型汎用機向け開発など
システム基盤
システム基盤の設計・構築



【一社ではできないことをする】

(株)野村総合研究所 榊原 大史氏

使命的に業界に携わり、道標を作っていく



(株)野村総合研究所 榊原 大史氏

プロフィール

経理財務部 財務課長

JISA財務税制委員会委員

JISA

1970年6月入会※

1. JISAの活動に関わったきっかけは？

財務税制委員会には当初より前任者が参画しており、私が引き継いだのがきっかけです。毎年公表される会計処理の基準（企業会計基準や実務対応報告等）を**情報サービス業界としてどう解釈して対応するかを議論し、業界全体にとっての道筋を作っていく場**にしたいと思っています。

2. JISAに加盟するメリットは？

「**情報サービス産業の成長のため、使命的に業界に携われること**」、そして「**業界各社で情報交換を密にできる場**」の両面があり、いずれも一番のメリットを表しているように思います。

3. JISAにお持ちの印象は？

JISAの活動は、**半分実益、半分社会貢献**といった印象。決して大企業のためだけでなく、中小企業を含む業界全体に指針を示すことができれば、と思っています。



4. 今後JISAでやっていきたいことは？

今以上にセミナーを開催していければよいと思います。

例えば、どういう情報が欲しいかを先に全会員から吸い上げ、ニーズにマッチした情報発信するやり方もあるのではないのでしょうか。

5. どんな人にJISAを勧めたい？

委員会活動に積極的なメンバーを増やしていきたいです。情報収集を目的に参加するのもありますが、自発的に話題を作ったり意見発信したりする方がいれば、もっと参加していただきたい。経理業務だけでなく全く違う業務に携わったことのある方の意見は新鮮です。

6. JISAにひとこと！

今後は、JISAのブランド向上に向け何をすべきか考えていくときだと思います。

JISAを通じて業界のために打ち手を出していくことが、究極的に業界各社のためになっていくのだと思っています。

※JISA前身の当時日本情報センター協会

7. JISA活用サービス具体例

● 財務税制委員会を通じて、情報発信力と発言力を発揮 ●

財務税制委員会で扱うトピックは、メンバーから意見を募りつつ選定しています。例えば、循環取引やクロス取引といった会計不正問題が世間を賑わせたとき、**JISAとして襟を正して活動すべきと情報発信した経験**が思い出深いです。また、工事進行基準の全面適用やIFRS会計基準への対応(収益認識)、クラウドの会計処理など、**業界の目まぐるしい変化を前向きに捉え、会員会社のプロジェクト管理や会計処理の検討に活かせるようなガイドブックやマニュアル**を随時部会で作成し公表しています。

財務税制委員会では、**一企業では言い出せないようなことが、JISAという機関を通すことで省庁等(経済産業省や財務会計基準機構など)にも意見を発信**することができます。先方も、その基準が実際に実務現場で受け入れられるか気になるのか、公表前のドラフトの時点でJISAに持ち込むことがあり、こちらとしても有難いです。

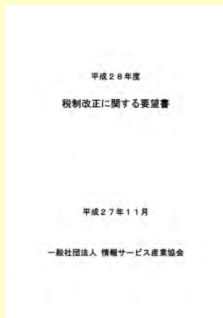
このように、JISAでは、**会計基準が確定する前に自ら意見発信**することができます。更に、ガイドブック作成を通じて、**JISAとしての意見発信を行い、監査法人や関係省庁等の理解を得る**ことができるよう活動しています。

もちろん、同業他社との関係作りも重要です。普段の実務現場ではライバル同士である企業と良い関係が築けたのも、財務税制委員会の利点でした。JISAの会合であれば変なしがらみもなく、委員会や懇親会を通じて、つながりを広げることができます。例えば、JISA会合の場を借り、各社実際に行われた取引を事例として相談やディスカッションをすることがあります。

各社で発生する問題は、各社に公式に質問窓口が設けられているわけではないため、良いつながりができることで共有しやすくなります。

特に、「経理」や「税務」という共有テーマを持ったつながりだからこそ実現できるのかもしれませんが。各社とも、他の部署と比べて経理部には担当者が少ないため社内には相談できる人があまりいないのです。

活用事例



(株)野村総合研究所 Dream up the future.

設立 1965年4月
代表取締役社長 嶋本 正
本社所在地 〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル
TEL:03-5533-2111

従業員数 9,012名(連結) (2015年3月)
事業内容 **コンサルティング**
マネジメントコンサルティング、システムコンサルティング
金融ITソリューション
証券ITソリューション、資産運用ITソリューション、銀行ITソリューション
保険ITソリューション
産業ITソリューション
流通ITソリューション、産業ITソリューション、ヘルスケアITソリューション
IT基盤サービス
基盤ITソリューション、システム運用ソリューション、先端技術ソリューション
セキュリティソリューション





〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-8-1 日東紡ビル 9 階
TEL:03-6214-1121(代表) FAX:03-6214-1123
<http://www.jisa.or.jp/>